

別表 1

| 事業名                | 具体的内容  | 助成内容 ※                           | 補助対象者   |
|--------------------|--|----------------------------------|---|
| 新製品等開発・研究促進<br>補助金 | 様々な製品作りに向けて、企業等が新製品・新技術を開発する際に、企画・研究・設計から試作開発までに要する費用の一部を助成する。 | 助成期間 1年以内<br>補助率及び限度額は別途応募要領で定める | <p>①市内に主たる事業所を有し、市内において1年以上操業している中小企業者(旭川市中小企業振興基本条例～平成23年年7月1日条例第29号～第2条第1号に規定する中小企業者。ただし、同条の規定にかかわらず、次のいずれかに該当するものは中小企業者に含む)。</p> <p>ア ゴム製品製造業(自動車又は航空機用タイヤ及びチューブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除く。)であって、資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社または常時使用する従業員の数が900人以下の会社</p> <p>イ ソフトウェア業又は情報処理サービス業であって、資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社または常時使用する従業員の数が300人以下の会社</p> <p>ウ 旅館業であって、資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社または常時使用する従業員の数が200人以下の会社</p> <p>②市内に事務所を有する中小企業団体(中小企業団体の組織に関する法律(昭和32年～法律第185号～第3条第1項に規定する中小企業団体)であって、その過半数が中小企業者で組織された団体であること。</p> <p>③市内在住かつ、1年以上市内で操業している個人事業主</p> <p>※いずれの場合も市税を滞納していない(市税を納税している)ことを条件とする。</p> |

別表 2

| 事業名                | 補助対象事業   | 補助対象経費(科目)  |
|--------------------|--|---|
| 新製品等開発・研究促進<br>補助金 | (1) 新製品等の研究開発事業<br>(2) 製品等の改良に係る事業<br>(3) 新製品に関するデザイン開発事業<br>(4) 機械、器具又は装置の省力化、高性能化または自動化のための技術の研究又は開発事業 | (1) 試作品等開発費<br>①原材料・副資材費, ②機械装置費, ③工具器具費, ④外注加工費,<br>⑤外注デザイン開発費, ⑥性能検査費, ⑦委託費<br><br>(2) 事業費<br>⑧工業所有権導入費<br>⑨直接人件費<br><br>※直接人件費の算定については別に定める算定方法によるものとする。<br>⑩その他補助事業の実施に当たり市長が特に認める経費<br><br>ソフト費：①原材料・副資材費, ④外注加工費, ⑤外注デザイン開発費, ⑥性能検査費,<br>⑦委託費, ⑧工業所有権導入費, ⑨直接人件費<br><br>ハード費：②機械装置費, ③工具器具費 |